

桃咲く里

佐久市立平根小学校
学校だより2月号
令和5年2月27日
文責：教頭 原



スキー教室②が行われました

今年度は、久方ぶりにスキー教室を2回実施することができました。2回目は2月10日（金）でした。天候は、1回目とは違い、雪が降る中でのスキー教室でした。午前中は気温も低かったこともあり、センターハウスで休みをとりながら実習をするグループもありましたが、お昼に食べたカレーで元気が出て、「早く滑りに行きたい！」という子がいたり、午後の実習を少し早めに終了するようにしたところ、「もっとやりたい！」という子がたくさんいました。最後にはインストラクターの皆さんにお礼の挨拶をし、6年生は修了証をいただきました。

雪には降られましたが、冬ならではのスポーツを楽しみました。歩いて行かれる距離に地元のスキー場がある、平根小学校ならではの行事でした。

学習の様子から

今年度、平根小学校では、東信教育事務所の指導主事の先生に来ていただいて、研究授業・授業研究会を通して職員が学び合う機会を2回設けました。更に3学期には2月3日（金）に帝京大学教育学部教授の鎌田和宏先生を講師にお招きして、授業づくりについて研修を行いました。6年生の社会科の授業を見ていただき、ご指導をいただきました。6年生のこの時期の社会科は、世界の中の日本について学ぶ、教わる側も教える側も、なかなか難しい單元なのですが、今回は高森町の空手の団体が行ったウクライナ支援を教材として学習しました（この支援は、テレビでも採り上げられ、特集が組まれたので、ご覧になった方、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。）。自分たちが住んでいる長野県で行われた支援であることや、民間の団体が行った支援であることでも、子どもたちにとって身近な教材にもなりますし、さらに、ICT 機器を活用して、支援の中心人物である空手団体の師範とオンラインでつながって話を聞いたり質問をしたりすることで、子どもたちが学習に引き込まれていきました。「本物」の説得力、それに触れる学習、子どもたちが自ら学ぼうとする授業づくりに、職員も学ぶ点が多くあったとともに、鎌田先生からも高い評価をいただきました。6年生は1学期にも、高瀬小学校とオンラインでつながって、児童会の運営について会議を開きました。

さらに、4年生でも2月22日（水）に、この研修を生かした授業づくりをしました。社会科の「昔の人の働きが、今の地域に根ざし、この先にも続く」ことを学習する単元で、教科書にある熊本県山都町の「通潤橋」について、山都町の通潤橋に詳しい方とオンラインでつながって授業をしました。通潤橋に対する思いやそれに関わる地域への思いを聞いたり質問したりしてやりとりをすることで、教科書がただの冊子ではなくなり、子どもたちが主体となって学ぶ学習へと変化をしていきました。

子どもたちのより深い学びのため、今年度の授業づくりの取り組みのなかで、いろいろな成果が得られました。まもなく令和4年度は終わりますが、今後もこの歩を進めて参りたいと思います。

アルミ缶 ありがとうございます

正門を入った北側に、地域の方からたくさんのアルミ缶を届けていただいております。今年度は、そのアルミ缶を回収してもらって得られたお金の中から、人権同和教育の教材と、中庭に置いてある1、2年生の外靴の下駄箱を購入させていただきました。ありがとうございました。

今後もアルミ缶の回収にご協力をお願いいたします。

地域の方から
寄せられた
アルミ缶



新・1、2年生外靴用下駄箱



雪が降っても元気いっぱい



インストラクターの先生方、
ありがとうございました。



オンラインでつながる授業（上6年、下4年）

